

情報通信成長戦略官民協議会（第2回）議事概要

日 時：令和8年2月20日（金）15:00～17:47

場 所：総務省会議室（web会議併用）

出席者：

（1）構成員

大野構成員、木村構成員、クロサカ構成員、櫻井構成員、高橋構成員、滝澤構成員、
中谷構成員、長谷川構成員、藤井構成員、宮川構成員、森川構成員

（2）関係行政機関

内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省、防衛省

（3）ヒアリング事業者

トヨタ自動車株式会社	山本 圭司 デジタル通信本部 本部長
NTT株式会社	島田 明 代表取締役社長
NTT株式会社	海老原 孝 常務執行役員 技術企画部門長
NTT株式会社	爪長 美菜子 執行役員 研究開発マーケティング本部 アライアンス部門長
KDDI株式会社	松田 浩路 代表取締役社長 CEO
KDDI株式会社	内山 芳洋 執行役員 渉外広報本部長
日本電気株式会社	山品 正勝 Corporate SEVP 兼 Co-COO
富士通株式会社	森林 正彰 執行役員専務、 I F I N I T Y株式会社代表取締役社長
I F I N I T Y株式会社	関野 徹 モバイルシステム事業本部 エグゼディレクター
I F I N I T Y株式会社	松井 秀樹 フォトニクスシステム事業本部長
株式会社Preferred Networks	岡野原 大輔 代表取締役社長
LQUOM株式会社	新関 和哉 代表取締役
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	石井 義則 常務理事

(4) 総務省

堀内議長代理、竹村総務審議官、大村大臣官房総括審議官(広報、政策企画(主)担当)、藤田大臣官房総括審議官(情報通信担当)、布施田国際戦略局長、豊嶋情報流通行政局長、湯本総合通信基盤局長、三田サイバーセキュリティ統括官、荒井大臣官房審議官(情報流通行政局担当)、吉田総合通信基盤局電気通信事業部長、翁長総合通信基盤局電波部長、中村情報流通行政局情報通信政策課長

議 題：

- (1) 事務局説明
- (2) ヒアリング及び意見交換
- (3) その他

議事概要：

(1) 事務局説明

事務局から資料2-1に基づき、以下のとおり説明を行った。

【事務局】 事務局でございます。

資料2-1で前回会合における主な御意見につきまして、簡単に整理をさせていただきましたので、ポイントだけ御紹介をさせていただければと思います。

1ページ目でございますが、情報通信そのものの位置づけや、基本理念についてまとめさせていただいてございます。通信インフラにつきましては、ほかの重要分野を支えるインフラであって、コストとしてではなく成長投資として評価する視点が必要といったことや、経済インフラだけでなく安全保障インフラと捉える必要があるといったようなお話を頂きました。

それから真ん中、海外のテクノロジーやダイナミズムを取り入れながらも、それと同じものをつくることのできる日本企業を育成していくことが必要だということ、既存のインフラにフリーライドするのではなく、新しくインフラを次世代のためにつくり直していくことが重要であること、さらにはロボットですとか自動運転といったフィジカルAIのような観点が重要であるといったような御意見を頂戴したかと思えます。

右肩2ページ目でございます。情報通信の中でも特に重点的に戦略的に取り組むべき技術ということでは、AIを高品質に使うためにAPN、オール光ネットワークはなくてはならないこと、それからオール光ネットワーク、ワット・ビット、AIの一体的な取組を先進的なデジタルインフラの整備として進めていくべきといったようなお話、海底

ケーブルについては、より強靱化と防護体制の強化をしっかりと考えていく必要があるといったこと、さらには産業競争力、経済安全保障といったような観点を踏まえて、ワイヤレス技術について継続的に維持発展させていくことが重要といったような御意見があったかと思えます。

3 ページ目でございます。横断的課題といたしまして、技術開発から社会実装への橋渡しの部分はどうしても弱いということで、技術と市場をつなぐような部分へのリソース配分を強化する必要があるといったようなこと、大学等が国内外の企業ですとか海外大学と積極的に交流することが不可欠であるといったようなこと、スタートアップの創出と、その活用が情報通信分野での大きなポイントになってくるという御意見を頂きました。

さらに下でございますが、官民連携による資金循環モデルの構築、政府が市場を先導するような公共調達、それから事業戦略と一体となった標準化戦略といったようなことを組み合わせる進めていくことが重要といったお話、それから、インフラや設備といった有形資産への投資が行われても、それを高い付加価値に転換する人材育成のような無形資産への投資ですとか、企業組織の変革が伴わなければ、結果として十分なリターンが得られないといった御意見を頂戴したところかと思っております。こういったことも念頭に置きながら、今回のヒアリングに、臨んでいただければと考えてございます。

事務局からは以上でございます。

(2) ヒアリング及び意見交換

トヨタ自動車株式会社より資料2-2に基づき説明後、意見交換が行われた。

NTT株式会社より資料2-3に基づき説明後、意見交換が行われた。

KDDI株式会社より資料2-4に基づき説明後、意見交換が行われた。

議事の途中で、堀内議長代理から、以下のとおり挨拶を行った。

【堀内議長代理】 総務副大臣の堀内詔子です。本日は、衆議院の本会議出席のために遅参いたしました大変申し訳ございませんでした。

本日は、情報通信成長戦略官民協議会第2回会合にお集まりいただきましてありがとうございます。また、今、御発表いただいたKDDI様をはじめ、事業者、関係団体の皆様方におかれましては御多忙の中、ヒアリングに御協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

情報通信は、社会活動や安全保障、また災害対応においても不可欠な基礎であり、この

分野において先手を打った官民連携の戦略的な投資を促進することは喫緊の課題であります。本協議会において、情報通信分野の成長戦略における、いわゆる基本理念や達成目標を整理いただくとともに、戦略的に取り組むべき重点技術を特定いただきたいと考えております。その上で、必要な投資規模や支援施策、そういったものをまとめた官民投資ロードマップの策定に向けて御議論をいただきたいと考えているところでございます。

構成員の皆様方の御知見に加え、事業者、関係団体の皆様方の生の声もぜひ参考にさせていただき、そして取りまとめさせていただきたいと考えております。

最後に、情報通信分野への戦略的投資を通じて我が国の強い経済を実現するため、本協議会へのお力添えを重ねてお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は闊達な御議論を賜っておりましてありがとうございます。そして、これからまた、ぜひ引き続きよろしくお願いたします。

日本電気株式会社より資料２－５に基づき説明後、意見交換が行われた。

富士通株式会社・１ＦＩＮＩＴＹ株式会社より資料２－６に基づき説明後、意見交換が行われた。

株式会社Preferred Networksより資料２－７に基づき説明後、意見交換が行われた。

ＬＱＵＯＭ株式会社より資料２－８に基づき説明後、意見交換が行われた。

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会より資料２－９に基づき説明後、意見交換が行われた。

(3) その他

事務局から、次回会合の日程については、２月２６日（木）を予定している旨、連絡があった。

以上